

英語が話せないの

<22>

実用英語を重視したわが国のか、英語教師から期待の英語教育を改善する最も効果的のいこうに改善されない。しか
な方法は、大学入試にヒアリンし、高校入試にヒアリングを出
くなど全般的な要素を増やすこ題しても大学入試に出なければ
テスト実施二年前の五十二年秋

大学入試改善が急務

ヒアリングテスト導入を

とである。大学入試の形式が変れば、結局、大きな改革力とはな
れば、高校入試もすぐに改善り得ないだろう。こう考えると、
されよう。大学入試の一新、改善が急務と
いえる。

文部省によると、現在、四十二

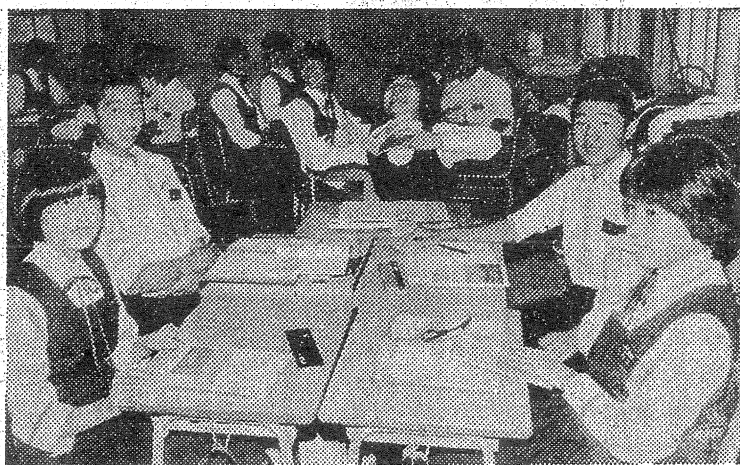
七都道府県の公立高校のうち、五十四年度の入試から始ま

すとき、最も大切なのは受験生

入試にヒアリング問題を出して、共通一次試験は、ヒアリング
の好機とみられた。英語教育の
崎、大分県などは早くからヒア
リング・テストを実施してい
る。福岡県は英語教師の力が弱
い。入試改善会議、でも当初
を収容する大教室は不相当で
り、NHKの第二放送ラジオ
を使えば、この難問は解決する

に限られる。全国で五十万人の
受験生がいれば、一万の教室が
いるし、十分な数の教室が確保
できるか否かは疑問。
「全国一万の教室でテープレ
コーダーによるテストを行う場
合、試験問題をテープにセット
して正しくプレーしなければな
らない。これは簡単な操作では
録音テープの保管が大問題にな
る。点検のため、事前にテー

と指摘する。
この方式は、既に十数年前か
ら富山県下の高校入試で実施さ
れ、成果は美事済み。共通一次
一台ずつを配置しても、真正は一
試験開始前に点検できる。
福田教授によると、全国二万
カ所の受験場に二万円のラジオ



英語の時間に会話が増えると生徒たちの表情はいきいきしてくる

だ。東京(NHK)に録音テ
テープ一本と、各教室にラジオ一
台を置ければよい。これなら事
安の投資」と話している。
前に正しく受信しているか否か